

2021年 トップに聞く

大成ロテック

西田 義則社長



20年を振り返って
相変わらず、自然災害
が激甚化、頻発化してい
る。コロナ禍でもわかっ
たように、社会インフラ
は医療と一緒に、必要不
可欠ということが国民の

皆さんに理解していただ
いたと思う。

新たな取り組み

脱炭素社会の実現に再
生エネルギーで貢献する
ため、中小水力発電事業
を計画している。創業者
の地である新潟県新発田
市でまずは始めたいと思
っている。

また、道路空間の整備
に関し、長野県伊那市と
包括的連携協定を結ん
だ。伊那市では、自動運
転など先進的に取り組ん

でいる。当社がそのフィ
ールドを借り、例えば舗
装診断をAIで行い、そ
れによってスムーズな交
通ができるような提案な
どを行っていききたいと思

を考えるきっかけにした
い。まずは10年を見据えた
3か年の新中期経営計画
を策定する。大倉喜八郎
翁の合言葉は、困難があ
っても前に進む「進一層

海外事業
中国では22年に北京で
冬季五輪があるので、さら
なる拡大を目指す。ペトナ
ムは、19年4月に現地法人
をつくり、F1コースのア

持続的成長で社会に貢献

っている。

21年の見通し

今年6月に創立60周年
を迎える。創業者である
大倉喜八郎翁の思いをも
う一度胸に、今後の10年後

(しんいつそう)「であ
った。思いは「世のため、
人のため」であり、持続
的に成長し、社会に貢献
できる会社を目指した
い。

ドバイザイ的な技術支援
を行った。今後は、再生ア
スファルトや遮熱舗装、排
水性舗装など、日本の技術
をもつていき、同国の発展
に貢献したい。

働き方改革

昨年(20)は第2、第4土曜
の閉所運動を実施した
が、21年度は強化月間だ
けでなく、第2、第4土
曜の閉所を目標として定
着させ、次のステップの
第3土曜、最終的には完
全週休2日にもつていき
たい。また、20年度の新
入社員から土日完全週
休2日を保証することに
した。これをしっかり定
着させ、広げていきたい
と思っている。